



「トリートメント・ギャップ」の解消を目指す！

基本知識・技術を知り、かかわる意欲を高め、実践できる依存症回復支援研修 ～ソーシャルワーカーベース～

「もしかしたら依存症かもしれない。どのようにかかわったらいいのだろう」
「かかわりたいけど一人では難しい」
と、現場で悩んだり困ったりしていませんか？

依存症は、自分自身も身近な周囲も病気とわかりにくい、慢性で進行性の病です。健康問題、貧困、家庭不和、自死、虐待などの社会的問題を背景とする生きづらさなどから、依存対象に頼らざるをえなくなり、いつの間にかコントロールが効かなくなってしまうものです。深刻化する前に少しでも早く気づき、治療や支援につながる必要があります。しかし現状は、支援者でさえも「見ようとしないと見えない」問題であることから、治療に繋がっている人は少なく、繋がるタイミングも遅くなりがちです。

令和7年度も、公益社団法人日本精神保健福祉士協会が依存症対策全国センター（久里浜医療センター）より受託し、
ソーシャルワーカー5団体が合同で主催します。

依存症（アルコール・薬物・ギャンブル等・ゲーム）回復支援研修

【研修日時】 オンデマンド視聴研修：2026年1月17日（土）～2月28日（土）12：59

オンラインライブ演習：2026年2月28日（土）13：00～16：00～3月1日（日）10：00～16：30

【実施方法】 Zoomによるオンライン研修 【研修プログラム】（裏面参照） 【定員】 150名 【受講料】 無料

【研修対象】 医療従事者（医師を除く社会福祉士※、精神保健福祉士※、作業療法士、看護師、公認心理師等）、
医療従事者以外のソーシャルワーカー※ 【※主催団体の会員以外の方も応募可】

【お申し込み資格】

- ①現在、現場で依存の課題を持つ患者、利用者、家族などにかかわっている、かかわる可能性が高いこと。
（特に、依存症の支援環境が整っていない場に身を置いている）
- ②オンデマンド視聴研修の受講完了後2日間のオンラインライブ演習を受講できること
- ③効果測定に協力できること
- ④2022年度からの本研修の受講経験がないこと

【受講決定について】

定員を超えた場合は、地域のバランスや職種・受講動機などを考慮して受講者を選考いたします。
選考結果は、2026年1月9日（金）までにメールで通知します。

*メールを受信できるようにあらかじめ設定をお願いします。

【お申し込み方法・研修詳細】 *個人情報、本研修に関わる以外には使用しません。

日本精神保健福祉士協会ウェブサイトの本研修ページ（URL、二次元コード）からお申し込みください。研修の最新情報もウェブサイトにてご確認ください。

https://www.jamhsw.or.jp/a/swr_addiction2025/

【お申し込み期間】

2025年9月12日（金）～12月18日（木）23：59

【修了証書】

研修修了者には修了証書を授与します。*所定時間を受講されていない方は、修了証書を交付できませんのでご注意ください。



【オンデマンド視聴研修プログラム概要】 視聴期間：2026年1月17日（土）～2月28日（土）12:59

	内 容	時間(分)	講 師
1	アディクションSW総論	(165)	
	①社会的問題とアディクションSW	30	稗田 里香（東京通信大学）
	②依存症の医学的理解	90	松本 俊彦（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター）
	③対象者理解	45	岡村 真紀（高嶺病院）
2	アディクションSW総論（回復支援）	45	板倉 康広（日本福祉教育専門学校）
3	アディクションSW各論	(220)	
	①アルコール依存	60	松浦 千恵（安東医院）
	②薬物依存	60	永尾 奈生実（赤城高原ホスピタル） 引土 絵未（日本女子大学）
	③ギャンブル等依存	60	阿部 誠（雷門メンタルクリニック）
	④ゲーム依存	40	前園 真毅（久里浜医療センター）
4	アディクションと家族	(100)	
	①家族介入	50	高橋 陽介（久里浜医療センター）
	②包括的な家族問題の理解と支援	50	山本 由紀（国際医療福祉大学）

【オンラインライブ演習プログラム概要】

	2026年2月28日（土）13:00～16:00（180分）	
1	回復の体験を聴き回復を信じることができる～依存の回復の語りとグループワーク	コーディネーター：藤原 尚（日本ソーシャルワーカー協会、大元酒類販売株式会社 酒害相談室） アルコール依存症当事者、薬物依存症当事者、ギャンブル依存症当事者、ゲーム依存症当事者、依存症当事者のご家族
	2026年3月1日（日）10:00～16:30（330分）	
2	回復支援を始める～グループワークによる事例検討	企画・コーディネーター：日本精神保健福祉士協会
3	それぞれの現場にある依存症支援の実情を共有する～シンポジウム（SW5団体）	コーディネーター：日本医療ソーシャルワーカー協会
4	現場でできるアクション・プラン（実践目標）をたてる	日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

【ソーシャルワーカー団体が開催する依存症研修のご案内】

●日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
<http://www.j-asw.jp/>

2025年度アルコール依存症回復支援基礎講座
フォローアップ研修



●日本医療ソーシャルワーカー協会

https://www.jaswhs.or.jp/education/workshop_list.php

2025年度「一般医療機関における依存症リカバリー
ソーシャルワーク研修」（東北と関西の先進事例から学ぶ）
2025年10月24日（金）まで申込受付中！



●日本社会福祉士会

<https://www.jacsw.or.jp/csw/eLearning/>

（Eラーニング講座）
依存症（アディクション）における対象者
理解と家族の支援



●日本精神保健福祉士協会

https://www.jamhsw.or.jp/a/addiction_open_seminar2025/

（学生及び初任者対象）
アディクション・オープンゼミナール 2025



【お問合せ先】

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 事務局（担当：小澤）

事務局開局時間：9:30～17:30（土日祝を除く）

TEL：03-5366-3152

E-mail：office@jamhsw.or.jp



◆受託団体：公益社団法人日本精神保健福祉士協会

◆企画・主催：汎用性の高い依存症支援の修得を目指すソーシャルワーカー関係団体協議会

（一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会）